

# みんなのかんきょう

# 57

## — Contents —

特 集 ..... 2～4

県民の手で守り育てよう！美しい福井の環境

私達の活動紹介 ..... 5

森と暮らすどんぐり倶楽部（美浜町）

鯖江市片上小学校（鯖江市）

協議会事業報告 ..... 6～7

環境クイズ・県からお知らせ等 ..... 8



環境ふくい推進協議会

「冬の野坂岳より敦賀平野を望む」  
撮影：田中 完一

## はじめに

県は、平成20年11月に、新しい「福井県環境基本計画」を策定しました。この計画は、福井県環境基本条例に基づいて、本県の環境を保全していくための方策を総合的かつ計画的に推進していくために定めるものです。

本県の環境基本計画は、平成9年3月に最初の計画が作られ、その後、平成15年1月に改定されています。最初の計画が策定されてから12年が経過し、その間に、リサイクル・廃棄物問題などの従来からある課題に加え、地球温暖化防止、身近な自然や生態系の再生、野生鳥獣との共存などの新たな課題がクローズアップされてきました。

そこで今回、新たな課題に対応して、美しい福井の環境を次の世代に引き継ぐため、県民一人ひとりが環境を大切に守り育てる行動を起こすことに繋げる具体的な計画として、新たな環境基本計画を策定しました。



## 新計画の目指すところ

新計画は、基本目標を「県民の手で守り育てる美しい福井の環境」として、福井の豊かで恵まれた山、

川、海などの自然、まちや家の周りなどの生活空間を美しくきれいにするために、県民一人ひとりが率先して活動していくことを目指しています。

前計画では、環境立県を基本目標として掲げ、環境と調和した持続可能な社会づくりを推進してきました。その結果、「環境を守り育てることが大事である」という意識は広がりましたが、今日、意識だけでなく県民一人ひとりの行動が必要です。

今後は、県民自らが率先して省資源・省エネ型ライフスタイルを実践していくとともに、多様な生物がにぎわう豊かな自然の保全活用に向けた活動を県民総ぐるみで進めていき、美しい環境を未来へと引き継ぐことを目指します。

## 新計画の内容

### ◇全国に先駆けて取り組む施策◇

新計画では、「県民」の手で「自然」と「生活」がバランスの取れた関係を実現することを目指して、「自然環境」、「生活環境」、「環境を想い行動する人づくり」の3つの視点から体系化し、具体的な施策を進めることにしています。

特に、次にご紹介する施策については、全国に先駆けて取り組む本県独自の10のプロジェクトとして掲げています。

### （自然環境）

#### ①「自然再生ふくい行動プロジェクト」

かつてはどこにでも見られた身近な生物が、近くの小川や田んぼ、家の回りなどで再び見ることができるよう、身近な自然を守り育てるための県民運動を推進します。

#### ②「里地里山保全活用推進プロジェクト」

県内の多くの里地里山で、開発の進行などにより、様々な生物が消滅しようとしています。

越前市や三方五湖周辺のモデル地区における成果を活用するなど、住民の主體的な活動による自然の保全再生を促進します。



【里地里山保全活用のイメージ】

### （生活環境）

#### ③「環境ふくいCO<sub>2</sub>削減貢献プロジェクト」

県民や企業からカーボンオフセットのために提供される資金を、植林や間伐などの森林整備や太陽光発電設備設置などに活用することにより、県内のCO<sub>2</sub>削減に貢献する、本県独自のカーボンオフセットのシステムを構築します。

カーボンオフセットとは……  
日常生活で排出されるCO<sub>2</sub>をできるだけ削減するよう努力した上で、それでもなお削減できなかったCO<sub>2</sub>を、クリーンエネルギー事業や植林・森林整備を実施または支援することで、差し引きして相殺しようとするものです。

#### ④「次世代(省エネ)自動車導入推進プロジェクト」

原子力発電によるクリーンエネルギーの世界有数の供給地である本県が、電気自動車などの環境にやさしい次世代自動車の普及に全国に先駆けて取り組むとともに、次世代自動車をレンタカーや貸タクシーなどに利用しながら観光地をめぐる環境に負荷をかけない観光のスタイルを提唱し、誘客の拡大につなげます。

#### ⑤「ストップ乗りすぎプロジェクト」

自動車利用から公共交通機関や自転車利用への転換を促すなど、環境負荷の少ない交通対策を推進します。

本県は、一世帯あたりの自動車所有台数が日本一多く、自家用乗用車の年間平均走行距離が全国平均の9,300kmに比べ、本県は10,300kmと1割も多いなど、車



に頼りすぎていると思われる実情を踏まえ、平成24年度までに本県の平均走行距離を5%削減することを目指します。このための具体的取り組みとして、次の2つの運動を進めていきます。

☆自転車に乗る習慣の復活を目指し、放置自転車を活用して企業や駅周辺の公的施設に配置し、近距離の移動に使ってもらうという「みどりの自転車活用運動」

☆特に高齢者の多い地区を中心に、通院や買い物に相乗りを推奨することにより、自動車の効率的利用を促す「愛の相乗り運動」

#### ⑥「ものを大切に作る社会づくりプロジェクト」

修理する文化をつくりだすことやリサイクル文化の定着を目指します。身の回りの物を安易に廃棄することを改め、良いものを大切に使う意識を引き起こして、修理やリサイクルの文化の定着を図ろうというものです。具体的には、靴やおもちゃなどの修理工房や、古本や衣服等のフリーマーケットなどを定期的に開催していきます。



【フリーマーケットのイメージ】

#### ⑦「ふくいのおいしい水プロジェクト」

すべての生命の源である水資源および自然環境が

豊かな本県を全国に情報発信します。

また、本県の豊かな水資源について、地域が主体となった保全活動の推進と、その有効活用を図ります。

#### (環境を想い行動する人づくり)

#### ⑧「福井型環境学習推進プロジェクト」

本県独自の環境学習教材を作成し、それを活用して、学校の授業(校内・校外)を実施します。子どもたちが、本県の環境に関する現状理解と実体験をもとにして、環境をより良くするために進んで活動することを目指します。



【福井型環境学習のイメージ】

#### ⑨「地域と共働した子ども自然体験プロジェクト」

県内の子どもたちが、小・中学校の義務教育期間中に田植えや山登り、船乗りなど、ふるさとの山、里、海の自然の姿や大切さを体感することにより、子どもたちの自主的な環境活動に結びつけようというものです。

具体的には、環境副読本(前述の本県独自の環境学習教材)を活用しながら、学校に対して地域・農協・漁協・森林組合・企業等が一体となって、子どもたちの生きた自然体験を応援していきます。

## ⑩「きれいなまちづくりプロジェクト」

花と緑にあふれるふるさとづくりを進めるとともに、外来植物の駆除や水資源を保全する活動を推進することにより、環境美化活動の定着したきれいなまちづくりを推進します。



【きれいなまちづくりのイメージ】

以上の10のプロジェクトは、いずれも本県独自の施策です。これらの取り組みが県民運動としての広がりを見せ、県内のさまざまなところでその活動が見られるようになることを期待しています。

## ◇県民運動の展開◇

新計画のもう一つの特徴として、前計画が「環境立県」を基本目標として掲げながら、必ずしも県民の自主的な行動に結びつくまでに浸透していなかった点があったことも踏まえ、県民が主役となる県民運動を積極的に展開していくことがあげられます。

そして、県民運動の一環として、環境に配慮したライフスタイルの定着を図るため、例えば、学校などの卒業にあたって、三方五湖の水質浄化のために刈り取ったヨシを用いた紙で卒業証書を作るとか、結婚の記念に夫婦や両親がそろって植樹や清掃活動

を行うなど、県民が人生の節目にふるさとの自然や環境を良くする行動の実践を推奨する「ふるさとに感謝 わたしの環境記念日」運動の取り組みを進めます。

また、こうした環境活動の輪を県民の間に広げていくため、現在、環境問題に関する学習会やイベントなどでご活躍いただいている環境アドバイザーやアースサポーターの方々に公募に応じた県民にも加わっていただいて、県民が主役となった県民運動の普及に取り組んでいきます。

これらは、いずれも他県で例を見ない本県ならではの運動として、広く県民の生活の中に定着していくように進めていきたいと考えています。特に「ふるさとに感謝 わたしの環境記念日」運動は、県民の高い環境意識を象徴する運動として全国に誇れるものになるよう育てていきたいと思っています。

## ◇環境ふくい県民会議の設置◇

これらの新たな県民運動が、多くの県民の知恵と行動力が結集し相乗効果を発揮することにより、地域づくりや地域の環境問題の解決の取り組みへと展開されるよう、経済界、農林漁業など様々な団体や行政が一体となった「環境ふくい県民会議」を設置し、新計画に盛り込まれた施策を総合的に推進していきます。

県民運動の実践にあたっては、「環境ふくい県民会議」と「環境ふくい推進協議会」および「福井県地球温暖化防止活動推進センター」が互いに密接に連携しながら進めていきたいと考えています。

## おわりに

新計画の策定を機に、本県の暮らしの質をさらに高め、ふるさと福井に自信と誇りを持って暮らすことが出来るよう、暮らしの基盤となる福井の環境を県民の手で豊かなものとし、全国に誇れる環境として、次の世代に引き継いでいかなければなりません。そのためには、地域や団体などにおけるさまざまな環境活動が、環境基本計画に掲げる県民運動につながるともに、この運動に対する県民の皆様の積極的な参加が何より重要であると考えていますので、皆様の御協力をお願いします。

(福井県安全環境部環境政策課)





【樹木の西日カット設計】

私達は林業の分野で経営を自立させ、若い人たちを一次産業に誘いたいと考えています。森林が持つ多面的機能を活かす事業です。特に、樹木の西日カットや葉っぱの蒸散作用による冷房効果の普及、木質バイオマス、小水力によるエネルギー生産、さらには排出権取引への関わりについて考えています。

私達は自然エネルギー推進の前に、「まず省エネルギー」を主張しています。樹木の西日カット、蒸散作用を利用した設計を行い、私達の倶楽部ハウスにはクーラーを取り付けていません。冬場にはマキストーブを使い、店内の暖房だけでなく、厨房の煮

炊きまで行っています。昨年3月にはマイクロ風力発電を開始し、「自然エネルギー講座」、「自然エネルギー推進プロジェクト」も設置しました。

今年1月には、美浜中学校で2年生50人を対象に、地球環境保全について2時限を使って授業しました。人間の生産活動によって地球が悲鳴を上げていること、地球環境への取り組みは若い人たちの雇用を生み出すことなどを話しかけました。学校以外では、自治体、民間グループとも積極的に関わっており、地域を元気にしたいと張り切っています。

(森と暮らすどんぐり倶楽部 松下照幸)



【マイクロ風力発電】



## 鯖江市片上小学校

平成17年6月、食育基本法が制定され「食育」の取り組みが学校現場や家庭、地域に浸透してきています。本校でも食育の年間カリキュラムを作成し、教育活動全般を通して食育に取り組み、心も体もたくましい子どもの育成を目指しています。

本校では、子どもたちの食に関する活動を「はあとふる活動」と名付け、地域から借りた畑や校内の畑に季節のさまざまな野菜を育てています。その中で子どもたちは、自分たちで食べる物を苦労して栽培することで、食べ物はきれいな土、水、大気が備

わった中で生産されることを学びながら「環境問題」と「食育」の問題を一緒に考えています。

また、総合的な学習の時間に環境問題について学習している5年生は、身近な環境問題を少しでも解決しようと「EM菌」を利用した浄化活動をしています。自分たちでといた米のとぎ汁にEM菌の原液を入れ発酵液を作り、それを清掃活動や野菜栽培に活用したりプールの中に投入したりして積極的に環境浄化に努力しています。

他にも、学校給食の調理で出される野菜くず等を堆肥にしたり、アルミ缶や使用済みインクカートリッジの回収、ズックのリサイクル活動をしたりして循環型社会を目指し、地球にやさしい取り組みを展開しています。

これらの取り組みが将来を担う子どもたちに根付き、環境問題を自分のものとしてとらえ、自分にできるエコ活動を続けられるようこれからも学習を進めていきたいと考えています。

(鯖江市片上小学校)



# 環境ふくい推進協議会事業報告

## 環境バスツアー

平成 20 年 10 月 25 日（日）、環境バスツアーを開催しました。このバスツアーは、環境に対する先進的な取り組みの見学を通して、一人ひとりが様々な角度から環境について考えていただくきっかけになればと、昨年から行っている事業です。今年は、ラムサール条約登録湿地である三方五湖の周辺へ行き、廃棄物処理施設などを見学し、「湖沼フォーラム in 三方五湖」に参加しました。それでは、今回のツアーを振り返ってみることにしましょう。

### 美浜・三方環境衛生組合 エコクル美方

エコクル美方は、ガス化溶解炉と最新の技術と設備を導入したリサイクル施設を併せ持つ次世代型のごみ処理施設として、地域の人々の暮らしを支えています。施設は、環境教育の場としても活用できるようになっており、また、家畜の糞や生ごみなどを高品質の堆肥にリサイクルする堆肥化施設を併設しています。

残念ながら溶解炉が稼動しているところは見られませんが、職員の方の解説を聞きながら、施設の素晴らしさに皆さん感心していました。特に、できた堆肥の有効利用方法や、ごみ焼却時の環境への配慮などに関心が集まっていました。



### 若狭三方縄文博物館 DOKIDOKI 館

自然環境と調和していた縄文人の暮らしを環境考古学の視点から考える展示や、鳥浜貝塚の出土品などから縄文人の文化に触れる展示を見学しました。

ここにかつて暮らしていた人々の生活水準の高さを知り、豊か過ぎる現代の暮らしを見つめ直すきっかけとなったのではないのでしょうか。

### 三方五湖遊覧船に乗船

なかなか乗船する機会がないので、貴重な体験でした。

船上から間近に見ることにより、湖のつながりや水面の状態、野鳥など、遠くから眺めるのとはまた違った三方五湖の一面を知りました。



### 湖沼フォーラム in 三方五湖 ※会場：福井県三方青年の家

#### ●基調講演「アオコを溶かす微生物」 講師：福井県立大学生物資源学部教授 廣石伸互氏

☆富栄養化と湖沼の水質汚濁の関係や、アオコ発生メカニズム、その毒性や防除法の研究などについて、ご講演いただきました。

#### ●パネルディスカッション「湖沼の水環境の再生を目指して」

コーディネーター：廣石 伸互氏

パネリスト：清水悠紀子氏 若狭町女性ネットワーク（若狭町）

中田 治和氏 ルーラル北潟西（あわら市）

土田 準氏 こまつ環境パートナーシップ木場潟再生プロジェクト（石川県小松市）

金崎いよ子氏 NPO法人びわこ豊穰の郷（滋賀県守山市）

☆湖沼を有する近隣の県からもパネリストの方を招き、それぞれの地域がかかえる問題や取り組み、湖沼環境の保全に対する考え方などを聴くことができました。会場の皆さんも、水環境を守るために自分たちがすべきことはなにか、気持ちを新たにされていたようです。



読

者

の

窓

みんなのかんきょう第56号に対するたくさんのお葉書、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをお詫言いたします。

私

達のように家庭で長く生活する者にとって、環境家計簿は大切なことだと感じました。これは続けてこそ意味があるもの。この上に立って、我が家の省エネについてよく考え見直しをして、どこを重点的に減らすか考えたいと思います。また、近所の皆さんにもお勧めしたい。

（大野市 Iさん）

見

える化の概念が環境問題にも展開されていることを知り、興味深く読みました。

（福井市 Yさん）

環

境家計簿という言葉も知らず、私は単に家計簿をつけていました。これからはCO<sub>2</sub>削減の取組みをしてみようと思いました。また、カーボンフットプリントという言葉も初めて目にし、表示された製品がでたら、買ってみようと思いました。

（池田町 Tさん）

福

井県内のCO<sub>2</sub>排出状況や家庭でのCO<sub>2</sub>削減の取り組みがよく分かる編集になっていて参考になりました。今年、緑のカーテンを自宅で作りました。楽しく、おいしく、涼しく、本当によい取り組みになりました。

（福井市 Tさん）

こ

れからは地球のことを考え、自分達の生活を考え直していかなければと思います。便利な生活にすっかり慣れてしまっていますが、体を動かし、無駄の出ない暮らしを心がけたいと思います。

（小浜市 Tさん）

# ふくい環境シンポジウム「わがまちLOVE・アース」コンテスト

平成 20 年 11 月 20 日（木）福井商工会議所コンベンションホールにおいて、ふくい環境シンポジウムを開催しました。冬の始まりを感じる寒さでしたが、約 120 名の方がご参加くださいました。

## 環境ふくい推進協議会会長表彰

当協議会では、環境保全活動のより一層の推進を図ることを目的として、地道に環境保全活動に努められ、その活動が賞賛に値する個人・団体・学校・企業を表彰しています。



### 平成 20 年度 表彰を受けられた皆さん（敬称略）

#### ●個人の部（5 名）

井口 節子（越前市）… 緑化、清掃美化  
城野 洋子（越前市）… 緑化、清掃美化  
藤井 俊雄（鯖江市）… 自然保護  
藤田 久子（鯖江市）… ごみ減量化・リサイクル  
若山 義丸（鯖江市）… 清掃美化

#### ●企業の部（2 社）

ジブラルタ生命保険㈱福井支社（福井市）… 清掃美化  
福井県民生活協同組合（福井市）… 環境教育

#### ●団体の部（3 団体）

かわだの自然と文化の会（鯖江市）… 清掃美化、自然保護  
さくら会（福井市）… 自然保護  
夢創造事業旭地区委員会環境部会（福井市）… 環境美化、地球温暖化防止

#### ●学校の部（3 校）

越前市武生第二中学校育友会（越前市）… ごみ減量化・リサイクル  
鯖江いずみ保育園（鯖江市）… 緑化、ごみ減量化・リサイクル  
鯖江市片上小学校（鯖江市）… 清掃美化、ごみ減量化・リサイクル

## 記 念 講 演

〔テーマ〕「地域でできる温暖化対策」～交通と環境の関わりから～

〔講 師〕 福井大学大学院工学研究科 准教授 川 本 義 海 氏

今年度から京都議定書約束期間（2008～2012 年）に入り、具体的な CO<sub>2</sub> 削減対策の実行が求められています。こうした中、地域でどのようなことができるのか、どのように考えるべきかを、交通の視点を中心にご講演をいただきました。その概要をご紹介します。



温暖化問題については、これを知らない人は誰もいません。福井においても平均気温の上昇や少雪化が現われており、考えながら行動する時代に入っています。

温室効果ガス排出量のうち、交通が占める部分は大きく、また、その取り組みの効果も他に比べて大きいといえます。そして、福井県は日本国内でもトップレベルの自動車の依存率となっています。

交通に対する具体的な取り組みとして、公共交通機関のマップ作成、車を共有するカーシェアリング、交通機関の利用を親子で体験・勉強する交通エコロジー教室、車を使わない日を設けるカーセーブデー、パークアンドライド、

また、エコドライブといった車の運転の仕方の見直し、自転車の利用や歩きといったように行動自体を変えること、フレックスタイムなどいろいろな取組が世界でそして福井でも進められていたり、検討されたりしています。さらには、コンパクトに動ける街づくりを目指すコンパクトシティといったように街の作り方、器そのものを考えていく必要があります。

こうした取り組みを進める上で、「カーボンフットプリント」や「環境家計簿」などにあるように、意識を変えるための可視化、つまり「見える化」に効果が期待されます。さらに、相手により魅力的に「見せる」ようにすること「見せる化」が大切です。

できることをやっていくことはもちろんのこと、できないと始めからあきらめずに考えることが大切です。地域や家庭で話し合いながらコミュニケーションの中でやることを広げていって、行政だけが呼びかけるのではなく、一般の人達、さらに会社も巻き込みながら、いっしょにやっていくことで、いろいろなことができるようになると思います。

CO<sub>2</sub> 削減自体も大事ですが、取り組みにより将来こんな楽しい社会が実現するということを考えるとやりがいが生まれると思います。



## 「わがまち LOVE・アース」コンテスト

本コンテストは、全国で展開している環境省の「温暖化対策『一村一品・知恵の輪』づくり」事業として、福井県で実施しているものです。県内で取組んでいる地球温暖化防止活動を掘り起こし、その活動を県内に広めるとともに、金賞を受賞した活動団体には、福井県代表として、全国大会でその取り組みをアピールしていただきます。

金賞：社北環境まちづくり運動（福井市社北公民館）

銀賞：お客様と共に取組む「エコ定期預金」、「リサイクル定期預金」（敦賀信用金庫）

銅賞：朝顔でエコ運動（春江町東部地区まちづくり協議会環境部会）

<その他の最終選考ノミネート団体>

- ・森林の多面的機能を活かした「私たちの林業」創出（森と暮らすどんぐり倶楽部）
- ・エコアクション 21 を活用した CO<sub>2</sub> 削減運動（ジビル調査設計株式会社）
- ・共同出資によるソーラーパネルの設置事業（丹南市民共同発電所の会）



# 環境クイズ

今回は「新しい福井県環境基本計画」がテーマです。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております！

**第1問** 平成20年11月に策定された新しい「福井県環境基本計画」の基本目標は？

- ① 環境にやさしい社会の実現
- ② 県民の手で守り育てる美しい福井の環境
- ③ 環境と調和した「環境立県 福井」の実現

**第2問** 新計画に掲げられた、全国に先駆けて取り組む福井県独自のプロジェクトの数はいくつでしょう？

- ① 5
- ② 7
- ③ 10

**第3問** 環境活動の輪を県民に広げていくため、現在活躍している県環境アドバイザーやアースサポーターに、公募に応じた県民を加えて結成するのは「環境ふくい○○○○○」○の中に入る言葉はどれでしょう？

- ① 県民活動隊
- ② 活動普及隊
- ③ 運動推進隊

## 環境クイズ応募要領

**方法** 答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

**締切日** 平成21年3月31日(当日消印有効)  
全問正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りいたします。

**【応募先】** 〒910-8580

福井県庁内 環境ふくい推進協議会

### 前回解答

- 第1問 ③ 約13.5パーセント
- 第2問 ② 環境家計簿
- 第3問 ① カーボンフットプリント

環境クイズプレゼントの当選者発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## 福井県からのお知らせ

### おいしいふくい食べきり運動 展開中！

県では、家庭や宴会時等での食べ残しを減らし、おいしい福井の食材を食べきることを目的とした「おいしいふくい食べきり運動」を展開しています。みなさんも是非この運動にご賛同いただき、ご協力をお願いします。



#### ●家庭での取組み

- ・買い物の前に冷蔵庫を確認しましょう。
- ・できるだけ家族そろって食べましょう。
- ・食べ物に感謝し最後までいただきます。

#### ●宴会時等の取組み

- ・出席者の性別や年齢などを店側に伝え、適量注文に心掛けましょう。
- ・食中毒の危険の少ない料理を持ち帰るなど工夫しましょう。
- ・酒宴の席では、開始後30分、終了前10分など、席を立たずにしっかり食べる時間を作りましょう。
- ・幹事さんは宴席中に「食べ残しの無いように！」の声かけをしましょう。

※詳しくは **おいしいふくい食べきり**

検索

【お問合せ】福井県 廃棄物対策課 リサイクル推進室

## WARM BIZで『うちエコ!』

この冬のWARM BIZのテーマは“ウチから暖めよう”オフィスだけでなく、衣食住を通して家の中からできる温暖化対策を実践しましょう！

冬を快適に過ごすちょっとした工夫で、過度な暖房に頼らなくても、経済的にもお得な楽しい生活を送ることができます☆

暖房設定温度の目安は20℃に！

WARM BIZに関する情報満載！

チーム・マイナス6%のHPはこちら

<http://www.team-6.jp/index.html>



### 環境ふくい推進協議会 会員募集!!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を毎月読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております！

《年会費》個人会員： 500円  
企業会員： 10,000円 (1口以上何口でも可)  
団体会員： 無料

《申込み・問合せ先》

環境ふくい推進協議会事務局(福井県環境政策課内)

TEL: 0776-20-0301

## 『環境ふくい県民運動推進大会』を開催します！ 参加者募集中

県では、新しい環境基本計画に掲げるプロジェクトを進めるための県民運動推進大会を開催します。ふるさと福井の美しい環境を守り、次世代に伝えるため、ここから県民一丸となって環境活動の輪を広げていきましょう！多数のご来場をお待ちしております。

日時：平成21年2月17日(火) 13:30～16:00

場所：A O S S A(アオッサ) 8階 県民ホール

記念講演：「身近な野生生物の復活に向けて～メダカからコウノトリまで～」

◎講師 (財)東京動物園協会恩賜上野動物園 副園長 田畑直樹氏

【お問合せ・お申込み】

福井県 環境政策課 環境計画推進グループ TEL: 0776-20-0301

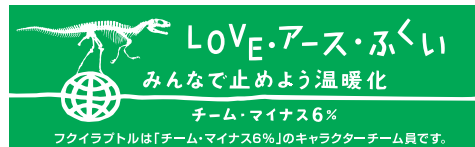


#### 【講師プロフィール】

1953年福井市生まれ。北海道大学理学部生物学科卒。1977年東京都職員となつてから一貫して動物園に勤務。井の頭自然文化園園長、多摩動物公園展示飼育課長を経て現職。佐渡トキ復活のためのトキ飼育や、木曾馬やトカラヤギなどの家畜を中心とした日本在来種の保存に関わる。

## 編集後記

エコバックを持つことが日常的になりました。環境に関する仕事をするまで、実はあまり意識をしていなかったのですが、今では暮らしの中にすっかり溶け込み、家族も私の様子を見て気をつけるようになったほどです。エコライフとは、まさに日常生活とともにあり、また、ほんのちょっとした意識改革から始められるのですね。



この情報紙は再生紙を使用しています